

TS College report

vol.33
2026.1

東京聖栄大学報



聖栄葛飾祭 2025

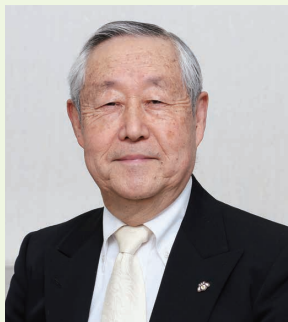


青木葛飾区長 視察

● C O N T E N T S ●

理事長・学長メッセージ／大学トピックス	2	研究関連	10
地域連携プロジェクト	3	後援会／聖栄会	11
学友会の活動	4・5	令和6年度決算報告	12・13
管理栄養学科の活動／食品学科の活動	6・7	附属わたなべ幼稚園／役員紹介／人事／地域共創・食育活動	14・15
学生支援センター	8・9	大学トピックス／学生募集要項	16

理事長・学長メッセージ



本学の役割

理事長・学長 田所 忠弘

東京聖栄大学は平成17年4月に短期大学から大学へ改組を行い食品・栄養そして健康を旨とした健康栄養学部として、日本のみならず、世界の食産業まで支える広範な視野のもと人が積極的に生き続けることを可能とする「食」の分野を中心に大学としてその歴史を積み上げてきました。そして

現在もその意を着実に引き継いでいる大学として創立20周年を迎えました。

今、全国各大学の役割の一つに地域貢献活動が盛んに進められており、本学も地元の葛飾区新小岩地区を始め区民の皆様の健康・元気で長生きにも貢献できるように区内飲食店や区役所食堂の新メニューの提案を行っております。また、本学では福島県塙町との地域連携等も進めております。

こうした「食の総合大学」に相応しい大学の展開が可能であるためには、教職員のみならず食への多様な価値観と柔軟な思考力を持ち合わせた学生の協力があってこそであります。教員と学生との距離が近いことが本学の特色の一つでもあります。

大学トピックス

葛飾区立中央図書館との連携事業について

本学図書館では、平成26（2014）年度より葛飾区と学校法人東京聖栄大学「連携・協力に関する協定」に基づき、葛飾区立中央図書館との連携事業を行っています。

令和7年度は葛飾区立中央図書館との連携事業として、「本学学生による食育に関する絵本の読みきかせ」と「葛飾区立中央図書館壁面展示」を行いました。

食育に関する絵本の読みきかせは、毎年食育月間である6月に開催しており、今年度は令和7年6月14日（土）に管理栄養学科・高橋美恵子教授のゼミ生（4年次生6名）が葛飾区立中央図書館のおはなしのへやで開催しました。絵本の読みきかせでは『そらめくんのベッド』などの絵本の読みきかせ等を行い、11名の親子が参加されました。

また、葛飾区立中央図書館壁面展示は、各学科が作成したパネルや本学教員の著書等の展示を令和7年9月1日（月）～9月11日（木）に葛飾区立中央図書館の展示コーナーにて行いました。

今後も引き続き、本学と葛飾区立中央図書館との連携事業を更に充実させて参ります。



地域連携プロジェクト

新科目「地域連携プロジェクト」スタート！

令和7年度後期よりスタートした新しい科目です。地域における健康・栄養・食に関する課題を行政や関連団体、企業と協働作業することで、大学で学ぶ専門知識がどのように社会貢献につながるかを現場での体験を通して学び、単位を取得します。

企画立案から準備、実施、まとめ等物事を進めるために必要なPDCAサイクルを理解し、コミュニケーション力の向上や協働する力、課題解決力を養います。今年度は、5つの活動がスタートしました。

1年後期
履修開始

2年前期～4年次も履修可能

卒業時単位取得

各プロジェクトで実践的活動（各 30 時間～ 60 時間、計 90 時間で2単位）

～かつしか健康・食育フェア～

令和7年10月15日葛飾保健所によるイベントに参加。子どもの食育につながる企画（今回はおままごとごっこを通して食べ物の大切さ）を伝えました。教材作成から当日の運営まで学生主体で行いました。



～かつしかふれあいRUNフェスタ～

令和8年3月8日のハーフマラソンにおける運営補助を通してイベント企画・運営の方法を体験します。運動後の栄養補給等のブース展示と試食提供を行います。



6年度の様子

～子どもの居場所づくり・食育活動～

春休みなどの水曜日に食育の観点から「おやつ作り」「遊び」を企画して、子どもたちと一緒に実践していきます。葛飾区のかつしか子ども食堂・居場所づくりネットワーク「オリーブルーム」さんとのコラボです。



～豊洲市場 夢市・楽座運営補助～

東京魚市場卸協同組合が運営する東日本大震災及び能登半島地震等の復興支援の一環として、復興支援店舗「夢市」と4県の情報ブース「楽座」運営の従事を通して復興支援について学びます。



～食品企業とのコラボによる商品開発～

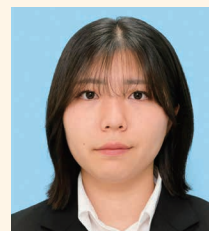
千葉県内にある佃煮メーカーのご要望により佃煮やその素材となるサバやイワシを使った新商品を考案中。市場調査（学生を対象とした学内アンケート調査）をはじめ、自分だったらどんな商品にしたいか、味は？見た目は？パッケージは？等試作を繰り返して検討しています。



学友会の活動

【会長挨拶】

学友会会長 管理栄養学科3年次生
岸 楓



今年度、学友会長に就任しました管理栄養学科3年の岸楓です。

東京聖栄大学として開学20周年の今年度は、「学生間の親睦と学生生活の充実」を目指して活動してきました。総会・新入生歓迎会から始まり、活気のある体育祭や今年度初の球技大会、大盛況の大学祭など学友会役員26人一丸となり開催することができました。

事故や怪我無く開催できたのは、役員をはじめ学生や教職員、後援会の方々など、協力していただいた方々のおかげです。ご協力いただき誠にありがとうございます。

今後も、より学生間の親睦と学生生活の充実ができるように活動してまいりますので引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【学友会総会、新入生歓迎会】

令和7年4月16日（水）に学友会総会及び新入生歓迎会を開催いたしました。1部の総会では、新役員（26名）の選出や承認、決算報告及び今年度の予算の承認がされました。2部は新入生歓迎会として葛飾区健康部長兼保健所長の清古愛弓先生に「かつしか健康実現プラン」と「葛飾区食育推進計画」についてご講演いただき、私たち学生にとって充実した内容となりました。また、3部の新入生歓迎会は部・同好会の紹介と抽選会を行いました。各団体の代表者が活動内容を説明し、閉会後に新入生に囲まれる姿も見られました。抽選会では新入生はもちろんのこと、参加者全員が大いに盛り上がるものとなり閉会しました。



【体育祭】

令和7年5月23日（金）に東新小岩運動場で「猪突猛進～全力で駆け抜けろ聖栄生～」のテーマのもと体育祭を開催いたしました。台風の日やお楽しみリレー、棒引きや男女混合選抜リレーなど学生が楽しめる競技を行い、チーム内で協力し楽しむ姿が見られました。体育祭実行委員会を中心に役員や有志、先生方の協力のもと体調不良や大きな怪我無くプログラム通りに閉会することができました。体育祭を通じて普段話さない人とも協力することにより、クラスの絆が深まり普段の授業にも繋がる良い機会となりました。



【球技大会】

令和7年7月19日（土）に体育館（わたなべ記念館）にて今年度初となる球技大会を開催いたしました。競技はバレーボールとドッジボールとし、5人1チームの募集を行いました。初めてということで少人数の希望制での募集をしましたが、予定よりも多くの学生からの応募があり、競技や応援で大きな盛り上がりを見せました。準備や片付けを始め、チームの入れ替えなど不安なことも協力して行うことができました。



【聖栄葛飾祭】

令和7年11月8日（土）・9日（日）に「食で結ぶ、心を繋ぐ～共に味わい、食から生まれる、絆のひととき～」のテーマのもと聖栄葛飾祭を開催いたしました。

学友会企画の一つとして、大学開学20周年企画の新キャラクターの作成を行い、聖栄葛飾祭にて来場者の皆様に名前の投票をしていただき、『せいまる』に決定いたしました。ご協力いただき誠にありがとうございました。他にも、毎年恒例の学友会レストランやお笑いライブ、スタンプラリーやバザー、体験企画としてペイブレード、フードドライブなどを行い、多くの来場者の方々に楽しんでいただくことができました。

クラス、部・同好会企画として飲食をはじめとした多くの出展を行い、各団体が来場者の方々に楽しんでいただけるよう、各自が試作や準備の段階から協力し本祭を迎えたため、活気があり忙しい中にも笑顔のあふれる出展となりました。

学科企画として、体験型の企画や加工品販売、展示企画など各学科の普段の学習を生かした企画が行われました。各学科ならではの体験を通して東京聖栄大学を知っていただく良い機会となりました。

多くの企業様や、地域の方々にご協賛を通じて支えていただいたことにより大盛況で聖栄葛飾祭を終了することができました。ご協力いただいた皆様、ご来場いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



管理栄養学科の活動

令和8年度の東京都職員Ⅰ類B採用試験、18期生5名(うち4名が教職課程)が合格しました!!



R.Iさん (教職)

合格者のコメント

試験対策は過去問、論文対策、面接練習をしました。



T.Yさん (教職)

合格者のコメント

正直、採用試験に合格でき嬉しいよりも先に安心しました。



S.Nさん (教職)

合格者のコメント

合格して、就職先が決まった嬉しさと同時に、目標達成した喪失感があります。



M.Tさん (教職)

合格者のコメント

教職の先生方にお力添えいただき、無事合格できました。



K.Oさん

合格者のコメント

友達、先生と一緒に勉強することで不安を溜め込まないことも大切です。

先輩の活躍を学ぶ(教職課程情報交換会)

令和7年10月11日(土)に教職を学ぶ在学生と卒業生との交流会を開催しました。卒業生11名、在学生23名が参加し、卒業生の食育実践発表と情報交換を行いました。参加した学生の感想としては「自分の進路が決まり、現場で働かれている先輩の仕事内容や休み、給与などを聞き自分が働くことへの実感が湧いてきた」(4年)、「教員採用試験に向けて具体的なスケジュール・勉強方法についてアドバイスをいただいた」(3年)、「学校栄養士や栄養教諭の仕事の楽しさややりがいを知り、将来の選択肢が広がった」(2年)等があげられた。1年生は日程の関係で参加できなかった。この貴重な交流会が長く続くことを願っております。



卒業生3名、栄養士(行政)に合格

令和6年3月卒業生2名が東京都(Ⅱ類)の栄養士に、令和7年3月の卒業生1名が川崎市の栄養士に見事合格しました。

第18期生 臨地実習(病院・介護施設) 報告会

令和7年6月21日(土)に病院・介護施設の報告会が行われました。受け入れ先の病院、介護施設の管理栄養士の先生方のご協力の下、現場での



の実習を行うことができました。発表に向けての報告書、パワーポイントの作成等、事前準備を進め、各施設で経験した深い実習内容が報告されました。新しい知識や視点を得られ、3年生、4年生と活発な質疑応答が行われ、有意義な学習の機会を得られました。

第40回管理栄養士国家試験

試験日は2026年(令和8年)3月1日(日)、試験地は全国9都道府県で行われます。合格発表は2026年(令和8年)3月27日(金)午後2時に厚生労働省ホームページに掲載されます。

食品学科の活動

令和7年度 元気な農村創生推進事業において

食品学科の学生延べ19名が福島県塙町への農都交流に参加しました。10月～12月の3回で自然農法を試みる農家での農業体験、移住就農者の牧場で酪農体験、林業・農業を営む農家での農業体験など学内では学べない貴重な体験をしてきました。



聖栄葛飾祭で2つの学科企画を実施しました

加工食品販売と出張「ダリちゃんショップ」

食材と作り方にこだわった加工食品の販売と、東日本大震災の復興を支援している福島県塙町の特産品店「ダリちゃんショップ」を開催しました。昨年も好評だった桃ジャム、辣椒油、椎茸入りごはんパンに、すもも、苺ジャム、焼き菓子のヴィジタンディース、スコーンを新しく加え7品を販売し、今年も会場は大賑わいでした。



具材たっぷり「辣椒油」



ヴィジタンディース



形もきのこなごはんパン



ダリちゃんショップ



会場の様子



ポスター展示



2種のスコーン



桃、すもも、苺のプレザーブタイプのジャム



学術展示「体験企画 “感覚力” をチェックしよう！」

食品学科の学術展示では、「飲んで・嗅いで・撮って“感覚力”をチェックしよう！」と題した体験企画を、361教室にて実施しました。

味覚コーナーでは、5種類の液体を味わい、五基本味（甘味・酸味・塩味・苦味・うま味）を判別する体験を行いました。嗅覚コーナーでは、異なるフレーバーをつけた液体を嗅ぎ、さらに飲むことで、香りが甘味の感じ方に与える影響を確かめました。視覚コーナーでは、映える料理写真の撮り方について説明を行った後、クリスマス仕様のスタイリングでスイーツを撮影する体験をしていただきました。

あわせて、各コーナーのテーマに合わせた解説ポスターや、感覚を用いた評価（官能評価）を含む、これまでの卒業研究ポスターも展示しました。



卒業生を含む500名超が、3コーナーに分かれて体験に参加



説明係を務める食品学科3年生と来場者（手前は撮影コーナー）

研究室紹介

食品開発研究室 中島 肇

今年度よりご縁があり食品開発研究室に着任致しました中島でございます。新しく着任したと言っても、乳業会社で研究所や海外駐在勤務を計30年、女子大学で教員生活を干支一回り経験した老兵です。前職では酪農乳製品や乳酸菌の研究を行ってきた他、伝統食品製造工程に隠されたコツの科学的な意義についても興味を持って研究をしておりました。

食品開発研究室では、着任した4月に初めて顔を合わせた4年生6名と文字通りの試行錯誤のゼミ活動と卒業研究（3名が対象）を行っています。本学では、これまで行ってきた乳製品や乳酸菌の研究に加えて、商品に付加価値をつける素材の用途研究にも着手できればと考えております。現4年生は聖栄葛飾祭でゼミ活動・研究成果の一部を地域のみなさまに披露したいということでスコーン販売を行いました。これからも、老害と言われない程度に研究室での成果を外に問う活動も継続できればと考えております。



聖栄葛飾祭に向けて販売用スコーン作製中の当ゼミ生

学生支援センター

令和7年3月卒業生就職結果

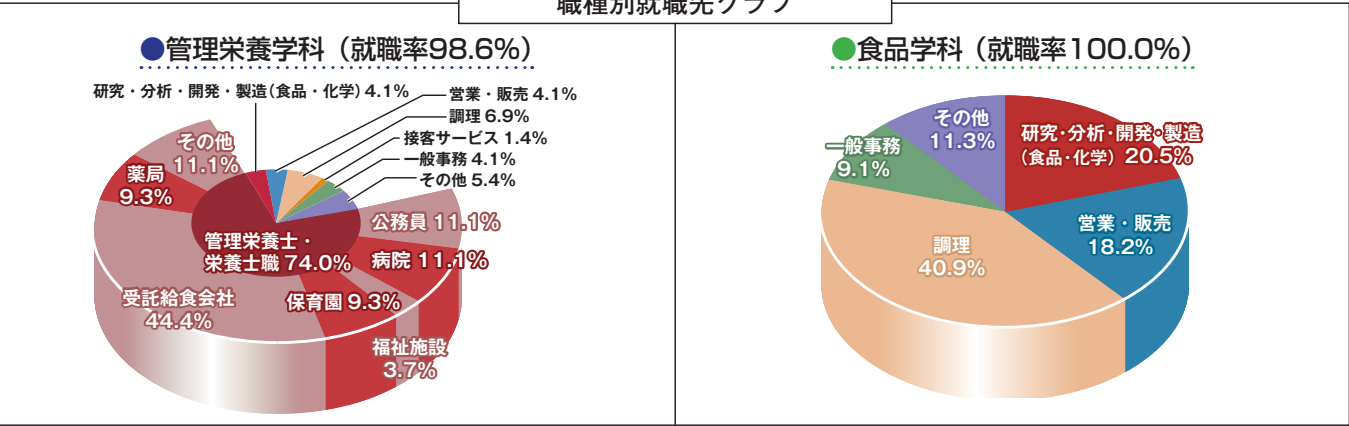
第17期生（令和7年3月卒業生）の就職率（就職希望者比）は、学部合計で99.2%でした。学科別には、管理栄養学科は公務員、医療・福祉施設、受託給食会社等の管理栄養士職を中心に98.6%、食品学科は食品企業の研究・技術・製造職や調理、営業職を中心に100.0%となりました。卒業生の多くは学業に関連した業種職種に就職しており、卒業生が就職先で大いに活躍することを期待しています。

<卒業生数と就職者数>

	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率（%）
管理栄養学科	75	74	73	98.6
食品学科	45	44	44	100.0
合計	120	118	117	99.2

第17期生（令和7年3月卒業生）の就職状況（就職率99.2%）

職種別就職先グラフ



第17期生（令和7年3月卒業生）の主な就職先

■管理栄養学科 <管理栄養士・栄養士職等>

公務員	東京都職員Ⅰ類（栄養士）／東京都職員Ⅱ類（栄養士）／川口市学校栄養職員（非常勤）／川崎市学校栄養職員（非常勤）／草加市学校栄養職員（非常勤）
病院・福祉施設	（独）国立病院機構関東信越グループ／IMSグループイムス東京葛飾総合病院／（医）若葉会 柿生記念病院／（学）国際医療福祉大学成田病院／（社福）恩賜財団済生会 東京都済生会向島病院／（社福）東京有隣会 有隣病院／（社福）千歳会 特別養護老人ホームちとせ稲毛
受託給食会社	エームサービス（株）／（株）グリーンハウス／コンパスグループ・ジャパン（株）／シダックス（株）／中央フードサービス（株）／日清医療食品（株）／淀川食品（株）／（株）LEOC
保育園	AIAI Child Care（株）／（株）こどもの森／（社福）東京児童協会
薬局・ドラッグストア	I&H（株）／（株）クリエイトエス・ディー／（株）マツモトキョシ
その他	金鶴食品製菓（株）／（株）ケイ・エス・オー／（株）ディーエイチシー／TBCグループ（株）

■食品学科 <一般企業等>

公務員	東京都中央区（技能Ⅲ）調理師
研究・分析・開発・製造（食品・化学）	（株）伊豆フェルメンテ／（株）グルメ和光／壽食品工業（株）／（株）サンデリカ／ムラカワ（株）／ヤマサ醤油（株）
営業・販売	角上魚類ホールディングス（株）／（株）久世／（株）成城石井／まいばすけっと（株）／（株）マルゼン
調理・接客サービス	（株）オリブの丘／（株）サイゼリヤ／（株）ジリオン／（株）トリドールホールディングス／（株）人形町今半／（株）ファーストリゾート／（株）ファイブグループ／（株）麺魚／日本レストランシステム（株）
その他	アース製薬（株）／（株）東京ドームホテル

令和8年3月卒業生の就職内定状況

（株）リクルートキャリア等の就職情報会社によると、2026年3月卒業予定の大学生・大学院生を対象とした大卒求人倍率は1.66倍で、2025年卒の1.75倍より0.09ポイント低下しました。コロナ禍後、2023年卒から3年連続で上昇していた大卒求人倍率は今年、減少に転じたものの、採用意欲は依然として強い傾向にあります。本学の4年次生の就職内定状況（11月30日現在）は、学部合計で90.0%と昨年度比プラス3.0ポイントでした。管理栄養学科は、公務員、病院、給食受託会社等に管理栄養士職として内定している者が多く、内定率は88.7%でした。食品学科は、食品会社の品質管理職、製造職、調理職、営業・販売職等が中心で内定率は91.8%でした。

まだ内定を得ていない学生について、今後も教職員が連携し丁寧な就職支援を継続していきます。関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

■令和8年3月卒業予定者の主な内定先等

<管理栄養士職>	<一般企業>
【公務員】東京都職員（Ⅰ類）栄養士	角上魚類ホールディングス（株）
（独）国立病院機構関東信越グループ	ジャルロイールケータリング（株）
社会福祉法人 湖聖会	タイヘイ（株）
AIAI Child Care（株）	トオカツフーズ（株）
エームサービス（株）	（株）ドトールコーヒー
（株）くすりの福太郎	パークタワーホテル（株）
（株）グリーンハウス	（株）ファーストリゾート
（株）江東微生物研究所	（株）富士商事
中央フードサービス（株）	フジパングループ本社（株）
（株）ポピンズエディケア	（株）マルゼン
淀川食品（株）	（株）ベジテック
（株）LEOC	リゾートトラスト（株）

学生支援センターより



就職活動ガイダンス



新小岩駅北口地域クリーン作戦参加

こちらの活動については、毎月第3土曜日に、地元・新小岩第六自治会や地域の方々と協力して活動しており、その様子は自治会発行の新聞（第六通信新年号）にも掲載されました。



学内奨学生表彰式



防火・防災訓練

～日本学生支援機構奨学金制度のお知らせ～

日本学生支援機構の奨学金制度「貸与型（無利子・有利子）・給付型」は、勉学に励む意欲があり、経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対して教育を受ける機会を保障する国が実施している制度です。申込時期は、「春期」と「秋期」です。また、災害等により家計急変された際の救済制度として「緊急採用・応急採用」があり随時申込が可能です。なお、奨学金制度利用する際には、「学力基準」および「家計基準」があり、基準を全て満たす必要があります。

【高等教育の修学支援新制度】

高等教育の修学支援新制度は、大学等の高等教育における授業料や入学金の減免と併せて日本学生支援機構の給付型奨学金による制度として2020年4月からスタートしました。2025年4月より多子世帯（世帯主が扶養している子ども三人以上）の学生への支援対象が拡充されました。本学は、支援対象校として文部科学省から認定を受けていますので、本学の学生は申請することができます。

本制度における申請は、給付型奨学金『日本学生支援機構』、授業料等減免『大学（本学）』夫々手続きが必要です。申請に関する案内は、学内の奨学金説明会にて行っていますので、利用を検討している学生は、説明会に出席してください。本制度の詳細は以下のホームページをご覧ください。

<ホームページURL>

- ・文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度について」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

- ・独立行政法人日本学生支援機構ホームページ「進学資金シミュレーター」（支援区分確認等）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>

奨学金に関するお問合せは、学生支援センターまで



研究関連

令和7年度 受託研究 一覧

No.	研究責任者	研究課題名	委託者
1	小林 陽子 大塚 静子	「かつしかの元気食堂」推進事業に関する研究	葛飾区
2	北村 義明	製パンにおける食塩の機能の客観的な把握とサワー種を用いた減塩パンの品質改善に関する研究	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団

かつしかの元気食堂

管理栄養学科3年次生は、毎年葛飾区にヘルシーメニューの提供をしています。

今年も、12メニューを提供し、3メニューが7月の写真撮影会及び審査会でイトーヨーカドーに選ばれ、11月に全国販売されました。学生もアリオ亀有で試食を兼ねた販売を実施しました。その他のメニューも葛飾区の元気食堂で学生考案メニューとして販売されました。「かつしかの元気食堂」推進事業をネットで見いただくとその中に東京聖栄大学作成「元気がでるメニュー」（カレンダー、レシピ）がありますので、是非ご覧ください。



学生販売風景



秋野菜と鶏の照り焼き弁当



生姜ご飯の中華丼



魚介のトマト味噌ソースパスタ

令和7（2025）年度 特別研究・共同研究

本学教育研究取扱要項第2項及び第3項の規定に基づき、特別研究・共同研究を毎年度募集しており、申請された研究課題については、研究推進委員会において審査し採否の決定をしています。今年度の特別研究・共同研究計画申請について以下の通り採用決定しました。

令和7年度 特別研究・共同研究計画申請者一覧

No.	代表申請者	研究別	研究課題名
1	福田 亨	特別	食品含有成分による骨代謝調節機構の解明 ＜令和6-7年度 2年計画＞
2	福留 奈美	共同	料理雑誌にみる食と健康のトレンド－『栄養と料理』他の目次の変遷－ （共同研究者：折口いづみ）＜令和6-7年度 2年計画＞
3	風見 公子	共同	幼児の食生活習慣について（共同研究者：小林陽子、高橋美恵子）
4	小林 陽子	共同	葛飾区との協働による「元気食堂推進事業」における食環境整備に関する研究 （共同研究者：風見公子、佐藤ひろ子）
5	柴田 隆一	共同	南葛 SC との協働事業 ―レシピ動画の作成― （共同研究者：小林陽子、宮内真弓、膳法浩史）

後援会の活動



後援会会長
緒方 恵

東京聖栄大学は大学としての20周年を迎えられました。

「健康・栄養・食品に関する専門的知識と技術、技能を身につけ、地域社会や職業社会で活躍できる人材を育成する」を使命とする本大学のますますの発展を祈念しております。

後援会では皆様から集められた後援会費を学友会や部・同好会活動の支援、就職関連書籍や図書館書籍の充実、奨学・奨励基金の助成、今年は20周年記念事業への補助に充てるなどの寄付事業を行っています。また教職員の方々との情報交換を行っています。昨年は学生食堂の視察をし、利用者を増やすためにはどうすべきかを考え、様々な意見から実現可能なこととして、学友会からの利用補助チケット配布につなげることができました。また、昨年より聖栄葛飾祭への協力も行っています。これから学校と学生と保護者の方々の懸け橋になるための活動を行いたいと思います。引き続きご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

後援会の主な活動 令和7年度

- 4月 後援会総会 ○6月 後援会四役会・役員会 ○10月 保護者会
- 11月 聖栄葛飾祭に協力 ○令和8年2月頃（予定）後援会役員会

聖栄会の活動



聖栄会会長
松崎 政三

新小岩駅周辺は活気にあふれ、大学も学生の地域参加や産学連携などで活発に活動が行われています。聖栄会の活動も会員が大学行事などへ積極的に参加を進めています。10月には食文化研究会が多くの会員の参加のもと、湯島天神の近く日本料理丸しまで、素材を五感で味わって楽しみながら盛大に開催されました。また、11月には聖栄葛飾祭が大学教職員と学生団体の学友会が中心となり、各分野の研究成果の発表や各出店ブースなど、楽しい雰囲気の中で開催され、聖栄会は卒業生が交流できるブースを設け、両日とも多くの参加者の来場により交流の輪が広がりました。聖栄会は、会員の親睦と資質の向上に、また、卒業生が社会で大いに活躍し、母校の知名度を高めていきたいと考えています。在校生には、卒業生の活躍状況などを知り進路を考えるきっかけになればと思います。今後も、こうした活動を聖栄会の発展に繋げて行きたいと考えています。

聖栄会の主な活動 令和7年度

- 4月 聖栄会だより発行 ○5月 学友会主催体育祭に協賛参加
- 6月 令和7年定期総会並びに懇親会開催 ○10月 食文化研究会の開催
- 11月 聖栄葛飾祭参加協力 ○令和8年3月聖栄大学18期卒業生記念品贈呈
- その他役員会を開催：1月、5月、6月、10月

令和6年度決算報告

学校法人東京聖栄大学

令和6年度の財務状況は、財政計画に基づき収入増、支出抑制の予算編成を行いました、事業活動収入は前年度比1億5,846万円減の10億3,561万円となりました。

支出については、抑制に努めた結果、前年度比4,560万円減の12億6,398万円となり、基本金組入前当年度収支差額は、2億2,837万円の支出超過（赤字）となり、6期連続の支出超過となりました。

1. 資金収支計算書

令和6年度の資金収支規模は、29億3,990万円となり、前年度より3,759万円減となった。これは、学生生徒等納付金収入等が減少したことが要因です。

前年度繰越支払資金を除く当年度の収入額は19億4,649万円で、支出額は19億2,502万円となり、翌年度繰越支払資金は2,147万円増の10億1,489万円となりました。

2. 事業活動収支計算書

事業活動収入は10億3,561万円で、事業活動支出は12億6,398万円であり、基本金組入前当年度収支差額は2億2,837万円の支出超過（事業活動収支差額比率△22.1%）となり、基本金組入額9,626万円を控除した当年度収支差額は3億2,463万円の支出超過となりました。（基本金組入後収支比率134.6%）

その結果、翌年度繰越収支差額は12億9,638万円と支出超過額が増加しました。

資金収支計算書 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで) (単位 千円)

収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
	学生生徒等納付金収入	780,151	780,408	△257
	手 数 料 収 入	13,072	13,174	△102
	寄 付 金 収 入	6,360	6,810	△450
	補 助 金 収 入	154,694	154,693	1
	国 庫 補 助 金 収 入	112,754	112,754	0
	都 県 補 助 金 収 入	39,071	39,071	0
	区 市 補 助 金 収 入	2,869	2,868	1
	資 産 売 却 収 入	700,000	700,000	0
	付随事業・収益事業収入	5,610	5,610	0
	受取利息・配当金収入	63,192	63,183	9
	雑 収 入	10,898	10,815	83
	借 入 金 等 収 入	0	0	0
	前 受 金 収 入	256,388	294,899	△38,511
	そ の 他 の 収 入	248,063	249,630	△1,567
	資金収入調整勘定	△329,489	△332,737	3,248
	前年度繰越支払資金	993,419	993,419	
	収 入 の 部 合 計	2,902,358	2,939,904	△37,546
支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
	人 件 費 支 出	712,323	711,835	488
	教育研究経費支出	273,937	274,463	△526
	管 理 経 費 支 出	103,488	106,111	△2,623
	借入金等利息支出	220	220	0
	借入金等返済支出	12,220	12,220	0
	施 設 関 係 支 出	41,021	41,020	1
	設 備 関 係 支 出	44,702	44,687	15
	資 産 運 用 支 出	732,251	732,251	0
	そ の 他 の 支 出	20,272	21,619	△1,347
	〔 予 備 費 〕	10,000		10,000
	資金支出調整勘定	△16,857	△19,408	2,551
	翌年度繰越支払資金	968,781	1,014,886	△46,105
	支 出 の 部 合 計	2,902,358	2,939,904	△37,546

事業活動収支計算書 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで) (単位 千円)

科 目		予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	780,151	780,408	△257
	手 数 料	13,072	13,174	△102
	寄 付 金	5,688	7,216	△1,528
	経常費等補助金	154,694	154,693	1
	国庫補助金	112,754	112,754	0
	都県補助金	39,071	39,071	0
	区市補助金	2,869	2,868	1
	付随事業収入	2,610	2,609	1
	雑 収 入	10,898	10,817	81
	教育活動収入計	967,113	968,917	△1,804
	事業活動支出の部			
	人 件 費	702,931	702,443	488
	教育研究経費	461,698	445,640	16,058
	管理経費	111,832	111,913	△81
	徴収不能額等	2,002	2,662	△660
教育活動支出計	1,278,463	1,262,658	15,805	
教育活動収支差額	△311,350	△293,741	△17,609	
科 目		予 算	決 算	差 異
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	63,287	63,279	8
	その他の教育活動外収入	3,000	3,000	0
	教育活動外収入計	66,287	66,279	8
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	220	220	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	220	220	0
	教育活動外収支差額	66,067	66,059	8
経常収支差額	△245,283	△227,682	△17,601	
科 目		予 算	決 算	差 異
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	1,418	418	1,000
	特 別 収 入 計	1,418	418	1,000
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	1,173	1,107	66
	その他の特別支出	0	0	0
	特 別 支 出 計	1,173	1,107	66
特 別 収 支 差 額	245	△689	934	
予 備 費	(10,000)		10,000	
基本金組入前当年度収支差額	△255,038	△228,371	△26,667	
基本金組入額合計	△79,011	△96,258	17,247	
当年度収支差額	△334,049	△324,629	△9,420	
前年度繰越収支差額	△1,296,375	△1,296,375	0	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△1,630,424	△1,621,004	△9,420	

3. 貸借対照表

令和6年度末の資産総額は2億8,037万円減の89億8,874万円です。固定資産は2億7,859万円減の79億6,528万円になり、流動資産は178万円減の10億2,346万円となりました。

負債総額は、借入金返済などで5,200万円減少し、6億4,647万円となりました。

純資産は2億2,837万円減の83億4,227万円となり、財政としては特に問題ない状況です。

貸借対照表 (令和7年3月31日)

(単位 千円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	7,965,280	8,243,873	△278,593
有 形 固 定 資 産	4,823,869	4,915,424	△91,555
土 地	1,889,389	1,889,389	0
建 物	2,515,040	2,587,467	△72,427
その他の有形固定資産	419,440	438,568	19,128
特 定 資 産	680,722	660,855	19,867
そ の 他 の 固 定 資 産	2,460,689	2,667,594	△206,905
流 動 資 産	1,023,458	1,025,239	△1,781
現 金 預 金	1,014,886	993,419	21,467
そ の 他 の 流 動 資 産	8,572	31,820	△23,248
資 産 の 部 合 計	8,988,738	9,269,112	△280,374

負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債	310,310	319,702	△9,392
退 職 給 与 引 当 金	310,310	319,702	△9,392
流 動 負 債	336,157	378,767	△42,610
短 期 借 入 金	0	12,220	△12,220
前 受 金	294,900	324,645	△29,745
そ の 他 の 流 動 負 債	41,257	41,902	△645
負 債 の 部 合 計	646,467	698,469	△52,002
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基 本 金	9,963,276	9,867,018	96,258
第 1 号 基 本 金	9,795,276	9,709,018	86,258
第 2 号 基 本 金	80,000	70,000	10,000
第 4 号 基 本 金	88,000	88,000	0
繰 越 収 支 差 額			
翌年度繰越収支差額	△1,621,004	△1,296,375	△324,629
純 資 産 の 部 合 計	8,342,272	8,570,643	△228,371
負債及び純資産の部合計	8,988,738	9,269,112	△280,374

※上記以外につきましては、本学ホームページ内、情報公表の11.財務情報に記載しております。

そちらでご確認ください。(URL : https://www.tsc-05.ac.jp/about_us/jouhou_koukai/)

東京聖栄大学 教育研究施設設備充実募金のお願い

本学は平成17年4月、聖徳栄養短期大学を改組して東京聖栄大学を創立以来、社会の急激な変遷に対応して、着々と健康・栄養・食品の教育に関わる大学としての基盤整備確立に努力し、その成果を挙げてまいりました。これも偏に皆様方のご支援、ご協力の賜物と感謝しております。

さて、本学では、予てから教育研究の充実を図り、更なる高度化推進を実現するため、「教育研究充実募金」を行ってまいりました。この寄付募金は財政基盤の強化の一環として、広く内外の学園関係者に呼びかけ、積極的に募金活動を実施いたしており、例年募金にご協力くださいますと誠に有難うございました。

つきましては、現在物価高騰による厳しい社会・経済情勢のもとでのお願いで誠に恐縮ではございますが、何卒、ご理解を賜り、募金要綱等をご覧いただきまして、寄付募金にご協力くださいますよう衷心よりお願い申し上げます。

なお、この寄付金は教育研究経費に充てるものであり、出資目的寄付金ではありません。

この寄付金は、**個人の場合は**特定公益増進法人への寄付金として**所得税法による減免税措置（税額控除）が受けられます**。また、**法人の場合は**、日本私立学校振興・共済事業団の**受配者指定寄付金として、寄付金の全額を損金に算入することができます**。

募金要綱

1. 目 的：教育・研究に要する経常的経費に充当するため
 2. 募金目標額：1千万円
 3. 寄 付 金 額：1口 1万円
 4. 募 集 期 間：令和8年3月末まで
 5. 申 込、振 込 方 法：本学所定の用紙をご利用ください
- ◎この寄付金は任意ではありますが、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。
- ◎この募金は、個人の場合は所得税法により税額控除が受けられます。法人の場合は受配者指定寄付金として全額損金に算入することができます。詳細については下記にお問い合わせください。
- 学校法人東京聖栄大学事務局財務課募金係 TEL 03-3692-0211代

募金申込状況

平成25年度から令和6年度までの募金申込状況は下表のとおりです。
この募金は、別口座に積み立てられ募金の趣旨に則り、有意義に活用させていただきます。

年度	申込件数	金額 (円)	年度	申込件数	金額 (円)
平成25年度	130	8,395,435	令和元年度	83	6,628,000
26年度	137	6,855,000	2年度	56	5,390,000
27年度	139	8,280,000	3年度	53	6,580,000
28年度	109	5,935,000	4年度	51	5,460,000
29年度	95	6,490,000	5年度	73	5,508,000
30年度	73	5,930,000	6年度	69	6,810,000

東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園の活動

わたなべ幼稚園では、子どもたちが主体的に学び合い、園内には日々明るい声と活気があふれています。日々の保育においては、食育をはじめとする体験的な学びを計画的に展開しており、野菜の栽培や年齢に応じたクッキング活動などを通して、子どもたちは「つくる喜び」「味わう楽しさ」を実感しています。

また、毎年実施している大学との連携による食育活動も、本年度は20名の学生を迎えて実施いたしました。「やさいはかせになろう!」をテーマに、野菜に関するビンゴゲームやクッキング活動が行われました。すいとん作りでは野菜を切ったり、すいとん粉をこねたりする工程を体験し、デザートのおムレット作りでは計量から焼き上げまでを行い、好みのトッピングを添えて味わ

いました。ビンゴゲームでは野菜クイズに挑戦し、正解を重ねるごとに歓声上がるなど、楽しみながら食への関心を深める貴重な機会となりました。

さらに、10月には園庭において運動会を開催いたしました。当日は400名を超える保護者の皆様にご来場いただき、子どもたちは暑さの中で積み重ねた練習の成果を存分に発揮しました。かけっこやリレー、遊戯、バルーン、組体操、親子競技など、すべての種目に全力で取り組む姿に温かい声援が送られました。

今後も地域に根ざした幼稚園として、子どもたち一人ひとりの健やかな成長を支える教育活動の充実に努めてまいります。



役員（理事・監事）紹介

本法人は、令和7年6月11日定時評議員会を開催し、令和7年4月1日改正・施行の新私立学校法及び新寄附行為等に基づき、理事、監事、評議員、会計監査人を選任しました。

引き続き、新理事による理事会が開催され、理事長及び業務執行理事（常務理事）の選定等が行われました。

また、令和7年6月30日理事会・評議員会を開催し、6月11日開催の定時評議員会終結の時点で欠員となっていた外部理事（1名）を補充・選任し、同日付で就任され、新メンバーによる理事会等が発足しました。

任期は、令和11年度の定時評議員会の終結の時までです。

	氏名	常勤・非常勤	理事は職務分担 監事は主な現職
理事長	田 所 忠 弘	常 勤	理事長・学長
業務執行理事	高 橋 成 彰	常 勤	常務理事：総務担当・教学担当 事務局長
	村 上 秀 男	常 勤	常務理事：財務担当 法人相談役
理 事	荒 木 裕 子	常 勤	わたなべ幼稚園担当 図書館長
	金 子 俊 也	常 勤	総務部長
	北 村 義 明	常 勤	研究推進担当
	久 野 清 福	非常勤	利益相反検討委員会委員 外部理事
	丸 山 信 一	常 勤	企画調整室長
	渡 邊 由美子	非常勤	理事長特命担当 外部理事
監 事	彦 坂 令 子	非常勤	大妻女子大学名誉教授
	佐 藤 紀 彦	非常勤	公認会計士

(令和8年1月1日現在)

人事について（順不同 敬称略）

教 員

令和7年8月31日付

■退 職

大 学
教 授 膳法 浩史

令和7年9月24日付

■採 用

大 学
非常勤講師 酒井 郷平
非常勤講師 松永 美咲

事務系

令和7年6月6日付

■採 用

総務部総務課（臨時） 竹内 珠代

令和7年7月1日付

■昇 任

企画調整室次長 兼 生涯学習センター次長
谷内ひろみ
（前：企画調整室企画調整課課長補佐
兼 生涯学習センター課長補佐）
図書館事務室主任 司書

上浦沙友里（前：図書館事務室職員 司書）

■兼 務

総務部財務課長 兼 総務部施設管理課長
松浦 健治（前：総務部財務課長）

■採 用

総務部総務課（臨時） 嶋田 訓子

令和7年8月1日付

■昇 任

保健室主任看護師
渋谷 由貴（前：保健室看護師）

令和7年8月24日付

■退 職

事務部学務課 熊田 彩加

令和7年10月1日付

■配置換

総務部総務課係長（情報処理センター 業務兼務）
富永 裕樹
（前：事務部学生支援センター 学生支援・
就職支援課係長（情報処理センター 業務兼務））
幼稚園事務室係長
鈴木 敦子（前：総務部総務課 係長）

令和8年1月1日付

■昇 任

事務部学生支援センター 学生支援・
就職支援課課長補佐
矢作 秀代（前：同係長）

地域共創・食育活動等

SLL講座「パンの講座」

図書館では学生の豊かな学びを支援するため、図書館主催の講座（SLL講座）を企画しています。

2025年7月9日（水）には、食品学科の吉田光一准教授と山本直子准教授による、「パンの講座」を食品加工実習室（711）で開催しました。

本講座には22名の学生が参加し、マيس（調理パン）とメロンパン（菓子パン）の2種類のパンを作りました。

本講座は申込開始日の翌日に定員に達するほど好評な講座であり、パン作りの楽しさを感じることのできる講座となりました。



かつしか区民大学 東京聖栄大学連携講座2025 『香りと味覚の体験シリーズ』開催

2025年8月20日（水）・21日（木）「にこわ新小岩」にて、スパイスカレーの調理実習とスパイス・ワークショップを開催しました。

吉田光一准教授による調理実習では、スパイス11種類をブレンドして夏野菜たっぷりのドライカレーとスープカレーを作りました。午後のスパイス・ワークショップは、福留奈美教授と岩畑慎一氏（ハウス食品株式会社開発研究所）によるスパイスの話につづき、Myカレー粉のブレンド体験とスパイス料理の試食などを行いました。



公開講座

本学では、地域貢献活動の一環として、毎年度公開講座を実施しています。令和7年度は、11月1日に＜健康づくり運動講座 あなたに合った運動法を見つけましょう＞（膳法浩史管理栄養学科前教授）を、11月29日に＜健康食品講座「食」情報を読み解く知識と選択眼＞（折口いづみ食品学科助教）を実施しました。

どちらも講義形式の講座であり、多くの皆様にご参加をいただきました。参加された方からは、「ためになった」「参加して良かった」など、非常に好意的なご意見が多く寄せられました。講座の様子は、大学ホームページのインフォメーションにも掲載しています。

引き続き地域に根差した大学として、様々な講座を実施してまいります。



大学トピックス

「20代の野菜不足アイデアコンテスト2025」で3位入賞しました。

令和7年11月18日（火）にカゴメ株式会社主催の「20代の野菜不足アイデアコンテスト2025」にて管理栄養学科18期生によるチームVが全国第3位に入賞しました。

同コンテストはカゴメ株式会社を中心に多数の賛同企業により開催されました。

野菜が不足している20代男女の野菜摂取量を持続的かつ習慣的に増やすためのアイデアについて賛同企業のリソースを活用して考えるというテーマのもと、全国から集まった169件の応募の中から当校の学生が考案した手軽に1食分の野菜を摂取できるディップソース「ベじっぷ」が3位入賞を果たしました。

「ベじっぷ」はカゴメ「野菜生活100」の濃縮液にはちみつや甜面醬、にんにく等を混ぜた「密醬ソース」であり、気づかず食べるステルス戦略は未来の食インフラになると提案しました。

20代の野菜不足解消アイデアコンテスト特設サイト：<https://yasaiwotorou-idea.com/>



令和8年度 東京聖栄大学 学生募集要項（抜粋）

健康栄養学部（共学）/管理栄養学科・食品学科（募集定員：両学科共80名）

入試区分	試験日	選抜方法
一般選抜	1期	1月29日(木)
	2期	2月11日(水)
	3期	3月7日(土)
	4期	3月18日(水)

入試区分	試験日	選抜方法
大学入学共通テスト利用型	1期	* 本学独自の試験は無し
	2期	
	3期	
	4期	
総合型選抜3期	3月7日(土)	調査書、大学入学希望理由書、面接

*上記以外で、「編入学入試（管理栄養学科・食品学科3・2年次編入）」を実施。【試験日】2期：2/11（水）。

*一般選抜1期は、「入試成績優秀者特待生制度（成績上位者10%以内（最大5名）に対し、入学後300,000円支給）」あり。

*入学願書等は、インターネット出願にて受付。

*各入試区分における出願期間、選抜方法等詳細については本学ホームページ並びに「令和8年度学生募集要項」をご確認ください。

令和8年3月20日(金) 13:00～17:00(要予約)
～高校2, 1年生対象春のオープンキャンパス～

*午前の部（10:00～12:30）では「栄養・食品系体験講座」を開催。

*当日の実施内容等詳細は、本学ホームページにてご案内いたします。

本学ホームページは
こちら



<お問い合わせ先>

入試・広報課

TEL：03-3692-0238(直通)

E-mail nyushi@tsc-05.ac.jp

発行 東京聖栄大学

〒124-8530 東京都葛飾区西新小岩 1-4-6

TEL：03-3692-0211 (代)

URL <https://www.tsc-05.ac.jp/>